

令和元年度 事業報告書

公益財団法人がん研究振興財団

令和元年度 事業報告書

1. 研究助成事業

- (1) がん研究助成 (公募) 24,976千円
第52回がん研究助成審議会の審査を経て、次のとおり研究助成金を贈呈した。

一般課題 A 20名

一般課題 B 10名

- (2) 海外派遣研究助成 (公募) 2,700千円
がんに関する国際会議、国際学会への出席者16名に対し、海外旅費等の助成を行った。

2. 関係団体助成事業 1,000千円
UICC国内委員会の事業に対し、助成を行った。

3. 技術者研修助成事業 (公募) 1,400千円
がん看護等の知識・技術の向上を図るため、コメディカルスタッフの海外研修留学等7名に対し、海外旅費等の助成を行った。

4. 革新的がん医療実用化研究推進事業

- (1) がんになっても生きる希望を持てる事業 (HOPE 事業)
幅広い分野の柔軟な発想を持った若手の人材をがん研究領域に取り込むとともに国際化の進展のため海外派遣支援を行うため、次の助成を行った。

①若手、女性研究者の戦略的育成事業

(シニア・リサーチフェロー制度) (公募) 15,000千円

5名

- (2) 「充実したサバイバーシップを実現する社会の構築をめざした研究」課題解決に向けた支援事業

充実したサバイバーシップを実現する社会の構築をめざした、患者本人や家族が本来の生活の場所で暮らしていく過程で直面する様々な課題解決に関する研究の支援を行うため、次の助成を行った。

- ① 研究助成事業（公募） 4, 200千円
 一般課題 10名

(3) 研究成果等普及啓発事業

一般向け公開セミナー等を開催し、がんの普及啓発に努めた。

- ① がんサバイバーシップ研究成果発表会・セミナー開催
 セミナーテーマ「ケア提供者としてがんサバイバーを支えるということ」
 開催日 令和2年2月6日（木）
 会 場 国立がん研究センター研究棟セミナールーム
- ② がん研究シンポジウム開催（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）
 テーマ がんゲノム医療の現状と未来
 開催日 令和2年3月26日（木）～27日（金）
 会 場 国立がん研究センター研究棟1階大会議

- ③ がん関連パンフレットの作成配布
- | | |
|---|------|
| ○ がんの統計 2018 | 4千部 |
| ○ こころとからだを支えるがんサバイバーのための
かんたんおいしいレシピ | 1千部 |
| ○ かんたんおいしレシピ簡易版 | 3千部 |
| ○ がん治療中の食事サポートブック 2018 | 10千部 |
| ○ がん治療と食生活 | 10千部 |
| ○ かんたんおいしレシピ2 | 30千部 |
| ○ 多職種から学ぶ：がん看護の基礎 | 5千部 |

5. 広報活動事業（一般財団法人日本宝くじ協会助成事業） 30, 413千円

がん研究の成果を国民にフィードバックするため、ホームページの充実やパンフレット等を作成し、自治体、学校、保健所及びがん診療連携拠点病院等に配布した。

(冊子名)

- やさしいがんの知識
 肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん 1, 393千部
- がん検診 1, 589千部